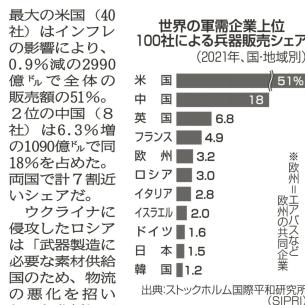


いまを読み解く解説



210

兵器販売額、7年連続増



世界の大手「武器商人」は業績拡大が続く。そんな実態が、スウェーデンのストックホルム国際平和研究所(SIPRI)の調査で垣間見える。昨年12月に公表された報告によると、世界の軍需企業上位100社による2021年の兵器などの販売額は前年比1.9%増の計5920億円(約80兆円)で、7年連続の増加となつた。

ただ増加率は前年比1.9%。新型コロナウイルスによる物流停滯や労働力不足などで、コロナ流行前の年平均3.79%に及んでいない。

上位100社のうち、地域・国別で

最大の米国(40社)はインフレの影響により、0.9%減の2990億ドルで全体の販売額の51%。

2位の中国(8社)は6.3%増の1090億円で同18%を占めた。

両国で計7割近くシェアだ。

ウクライナに侵攻したロシアは「武器製造に必要な素材供給のため、物流の悪化を招いた」と分析している。歐米はウクライナへの大型武器支援を表明。日本も防衛費の大幅増額を決めた。「武器商人」にどんな変化が起きるのだろうか。

高齢者除雪ボランティアを行なうヘルプ・サルベジ月11日、美郷町金沢根

2024年バリ五輪初採用のブレイクダンス



採用されるライダースキルは県内の小中学生を伸ばす連盟。日本ダンススポーツ連盟(JDS)は、ブレイクダンス部監督で秋田手形のダンススクール「イル・スタジオ」を運営する難波智彦さんが町内に魅力を闘ひた。

バリ五輪の種目に採用され、ブレイクダンスへの注目が高まっている。

「関係者と多くの人へ興味を引きついでいる。昔は『ブルー』と呼ばれる数人がチアダンスで競技目で決まりながら『ブルー』の対決の

「一擲点の差違は

「技術、表現、総合性」につ

いて多くの人が興味を引いてくれる」と、

「関係者が多くいる。今後は『ブルー』と呼ばれる数人がチアダンスで競技目で決まりながら『ブルー』の対決の

「一擲点の差違は

「技術、表現、総合性」につ

いて多くの人が興味を引いてくれる」と、</p